

日本経済は2002年2月からの景気拡大が、2006年10月で戦後最長のいざなぎ景気に並び、さらに2006年11月からは戦後最長の拡大に突入しています。景気の好況感はあまりありませんが、多くの経済統計は、バブル経済崩壊時代を超えたとの経済指標が続出しており、事実、マクロ的には確実に景気は回復しています。しかし、デフレ経済が長く続き、名目経済のプラス成長ではなく実質経済がプラス成長による景気拡大であるため実感が少ないのが現実です。私は、バブル経済とバブル経済の崩壊を味わえる国は、選ばれた国であり恵まれた国なのです...と書いてきました。

ここで著名な経済評論家である「高橋乗宣氏」(三菱総合研究所理事を経て、現在、相愛大学学長)の「2007年・日本経済」(東洋経済新報社)より、引用(要約を含む引用)させていただきます(いい本ですので是非読んで下さい)。

これまでの日本は数多くの問題を抱え、薄氷を踏むような経済運営を強いられてきた。一步間違えば、恐慌にも陥りかねないきわどい状態であった。しかし、そうした事態を何とか乗り越えたことで、日本は新しいステージに入ったと考えられる。それは「100年に一度」の絶好のチャンスであるかもしれない。このチャンスをうまく利用すれば、日本は再び栄光を取り戻すことが出来る。ただし、あくまでも「このチャンスをうまく利用すれば」という注釈をつくことを忘れていただきたい。

さて、日本が100年に一度のステージに入ったと考えるようになったのは、デフレを乗り越え、これからの新しい時代に対応出来る資質を日本が世界で唯一身につけつつあると思うからである。

日本はバブル経済で絶頂を経験した後、バブルがはじけた1990年代に「過剰設備」「過剰雇用」「過剰債務」という三つの「過剰」を背負い込んだ。バブル崩壊から現在まで、日本はこの三つの過剰を解消するためにのたうち回ってきたと言っても過言ではない。実は、日本がこのような体験をしてきたことが、大きな意味を持っている。かつて古典的な経済学が機能していた時代には、世界は10年から12年に一度のサイクルで恐慌を経験してきた。恐慌とは、言うまでもなく激しい景気後退であり、経済社会に甚大なマイナスの影響をもたらすものである。しかし恐慌は経済の矛盾が溜まりに溜まって、ひずみに耐えられなくなったときに爆発するものであり、恐慌から回復する過程は、経済や社会のひずみを矯正する過程である。厳しい経済環境の中でひずみが解消されていくと、再び景気は上向き、好況が訪れる。言ってみれば、恐慌とは経済のひずみ(過剰設備や過剰雇用)を調整する役割を果たす経済の自浄作用ということが出来る。ところが、第2次世界大戦後には、10~12年ごとに恐慌が訪れるというサイクルは消滅してしまった。それはケインズ革命の功績である。イギリスの経済学者ジョン・メイナード・ケインズは、不況で需要が落ち込んだ場合、減税や政府の公共投資によって需要を創出することができると説き、ケインズ経済学を確立した。第2次世界大戦後の経済主要国は、ケインズ経済学の実施により体内の浄化をせずにきてしまったが、日本はバブルの崩壊とその回復の過程を経験したことによって、経済の浄化を行うことが出来たのである。バブルの崩壊によって、日本は世界で唯一、恐慌と同じような「過剰の調整」を行うことが出来たと言ってよい。その過程で、ずいぶん苦しむことになったが、結果的には非常に強靱で健全な体質に生まれ変わることができた。それは、これからの日本経済にとって、大きなアドバンテージになる。

今後の日本経済の成長率は、IMFは2%、安倍内閣は3%と言っていますが、日本経済の潜在力は、もっともっと高いことが想定されます。今、日本経済の再生が現実のものとして起こっています。団塊世代が大量に退職する2007年以前に、日本経済再生が軌道に乗ったということは大変意義があります。終戦後の日本経済を再建させた先輩(第2世代)たちの功績を、無(ゼロ)にしないで引き継ぎ、新たな視点で、日本経済の再生を軌道に乗せた団塊世代(第3世代)の努力と創意は、見事です。ここで第2世代(大正時代から明治の初めに生まれ、戦後の日本経済を再生された方々)と第3世代(団塊世代)のバトンタッチが出来つつあります。

団塊世代は単に第2世代の恩恵に与っただけでなく、創意工夫をしてバブル経済崩壊後の日本の再生に貢献しました。もう、団塊世代は穀潰しではありません。次の世代へのバトンタッチの役割を果たしました。

日本経済は設備投資と輸出が好調です。これに、消費が向上すると、アメリカの1990年代のように、わが国でも流通が再度大発展します。すなわち、アメリカは1980年代の不景気の時代には流通業も大苦戦しましたが、1990年代になり景気が良くなると、流通業は再度大発展しました。ただし、勝ちパターン化していない流通企業は1990年代の好景気の時代でも淘汰されました。